

選挙区も比例も横線の**大接戦!**

最終盤、全党員が持てる力発揮し悔いなき闘いを

マイ名簿・「声の全戸訪問」すべてで熱い訴えを

支持を依頼した人が「10票、20票と広げた」

いわき市の鹿島・玉川支部で、「必勝袋」を渡していた人が「会社の人たちに広げたよ」と20人分のカードを届けてくれました。また戦争法廃止署名に協力してくれたある店長さんは10人分のカードを寄せてくれました。いわき双葉地区は「必勝袋」届けで約1万軒になっており、この方々に「担い手」になってもらい、3票5票と広げてもらう声掛けを重視して、対話・支持の大飛躍へ、最後まで「担い手」を広げることが強めています。福島

話す相手は無尽蔵

2日、郡山市東支部では、後援会事務所にて5人が集まり、用意した名簿で電話での対話にとりくみました。「久しぶりに話す相手とも話がかみ合い、共産党への期待がヒシヒシと感じられる」という感想が出ています。支部では、遅れている対話を目標通りやり遂げるため、連日、後援会事務所が集まり電話することになっています。二本松市でも、党員が集まり電話かけを強めています。地区委員会では、あらゆる名簿、テレデータで「話す相手は無尽蔵」であり、支持拡大目標をやり遂げるための、日々の支部、党員の行動を広げる呼びかけを強めています。

福島

新入党員が次々に支持拡大

中仙支部に5月に入党した70代のMさんは、周りの人に支持を広げています。「5、6年の付き合いでなく何十年も付き合い合ってきた人たちに「今度共産党に入ったのでよろしく」と党員になったことを話して支持を広げています。「別も悪いことをしているのではなく、むしろもつと皆なの生活を良くするために、共産党を大きくしたいから」と率直に話しているそうです。「姉の家は6人家族で、今まで自民党に入れていた。このあいだ『百姓で暮らしていけなくなってきた』というので共産党に入れてくれるようにお願いした。本家も自民党だが、本家の母さんに入党したことを話して『汗かけば困らねがったが、かく仕事がなくなった。このままではだめになる』と支持をお願いした」そうです。姉の娘さんは、母親大会に参加している人だそうですが、「息子さんに頼んで支持してもらった。これで支持が24人追加で、40人になりました。これからも支持を広げたい」と話しています。

秋田

いわぶち友候補青森を駆ける

三沢、十和田と街頭から訴え。十和田では自民候補が数百メートル先で演説。元防衛大臣が応援に来ていました。大激戦の選挙戦となっています。



4日、青森駅前。また洋比例候補

青森を中心とした自衛隊の部隊が南スーダンにP50で派遣をされる計画があることが明らかになっています。青森の若者を戦場に送るわけにはいきません！たなぶまさん候補の勝利と日本共産党の躍進で、戦争する国づくりをすすめる安倍政権に審判を！



4日、十和田市。

（いわぶち友フェイスブック）より

比例代表は「日本共産党へ」

選挙区は「野党統一候補へ」

党員は「いわぶち友」と書いて投票しよう徹底しよう。広げに広げよう。

参院選勝利
東北ブロックニュース

2016
7/4
34号
部内資料

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-2 8朝市ビル4階
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596
E-mail toblock@rose.ocn.ne.jp